

## 平成26年度「原子力関連業務従事者研修」を開始します

公益財団法人 若狭湾エネルギー研究センターでは、福井県が推進するエネルギー研究開発拠点化計画（「人材の育成・交流」）の一環として、平成17年度から「原子力関連業務従事者研修」を実施しています。

平成26年度は、昨年度の研修実績や県内企業のニーズ等を踏まえて、研修内容の一部を見直し、下記のとおり6月12日（木）から開始しますので、お知らせします。

### 記

#### 1. 目的

原子力施設のメンテナンス業務で必要となる技術等を的確に習得することにより、原子力関連業務に従事できる人材を育成するとともに、企業の技術レベルの向上を図る。

#### 2. 対象者

原子力関連業務への参入や技術力向上を希望する、県内に事業所を有する企業

#### 3. 研修内容

##### (1) 一般研修

放射線取扱等の原子力全般に関する基礎知識や、原子力施設における代表的な設備の保守点検作業等に関する基礎知識・技術等を習得するための研修



##### (2) 専門研修

原子力関連業務に必要な実践的な知識および技能を習得するための研修

#### 4. 平成26年度研修の主な変更点（別紙参照）

##### (1) 新規研修の追加

- ・ 原子力施設非破壊検査（PD2、UT1、UT2）  
技術及び実技の研修を実施し、非破壊検査資格試験合格を目標とした知識・技能を習得します。
- ・ 原子力施設電気技術  
理論及び法規等の研修を新たに実施し、第3種電気主任技術者資格試験合格を目標とした知識を習得します。
- ・ 低圧開閉装置保守点検  
低圧開閉装置の仕組みや点検方法等の知識を習得します。

##### (2) 研修開催会場の追加

従来から開催している一般研修のうちの電気基礎等の研修について、今年度から福井商工会議所を研修会場として追加します。

横型ポンプ分解組立研修については、日本原子力発電(株)敦賀総合研修センターを研修会場として追加します。

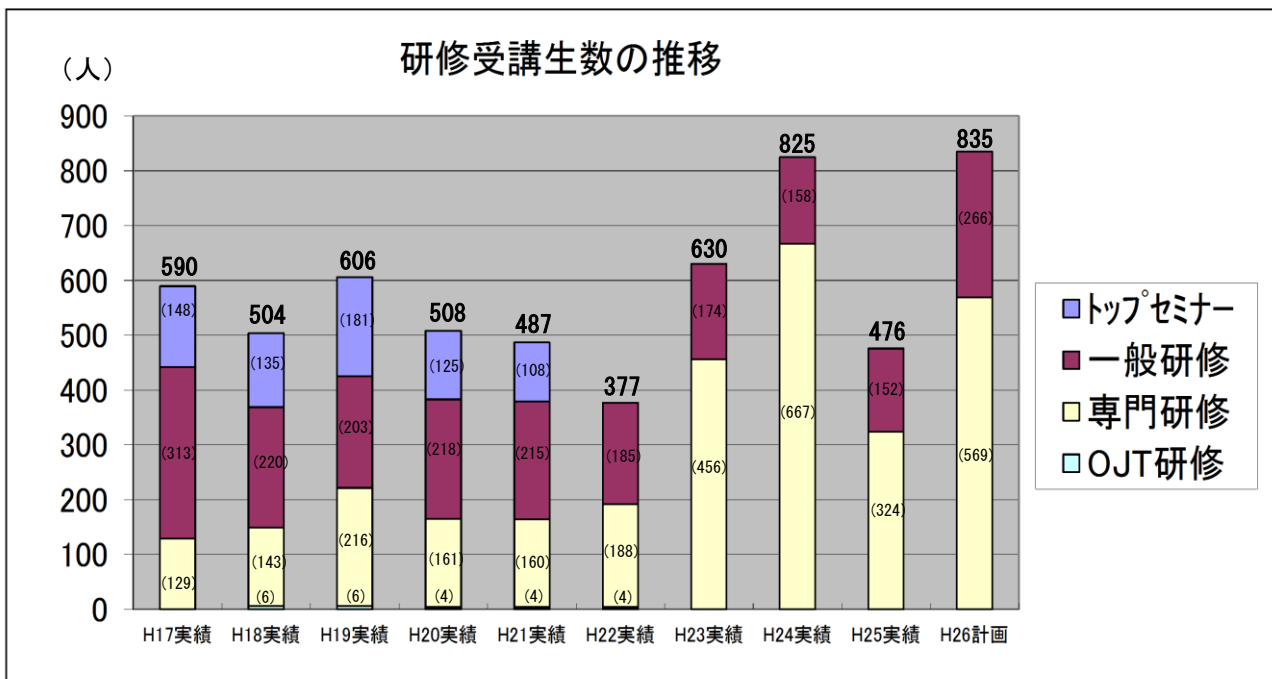
お問い合わせ先  
 (公財)若狭湾エネルギー研究センター  
 福井県国際原子力人材育成センター  
 国内人材育成グループ  
 山田、鈴木 TEL: 0770-24-7274

## 1. 平成26年度研修内容の主な変更点

区分	研修名	備考
【新規】	原子力施設非破壊検査（PD2 <sup>※1</sup> -技術） 原子力施設非破壊検査（PD2 <sup>※1</sup> -実技） 原子力施設非破壊検査（UT1 <sup>※2</sup> -技術） 原子力施設非破壊検査（UT1 <sup>※2</sup> -実技） 原子力施設非破壊検査（UT2 <sup>※3</sup> -技術） 原子力施設非破壊検査（UT2 <sup>※3</sup> -実技） 原子力施設電気技術 原子力施設低圧開閉装置保守点検	各1回
【開催会場追加】	原子力施設電気基礎（エレクトロニクス基礎） 原子力施設電気基礎（測定技術） 原子力施設非破壊検査基礎	敦賀会場 <sup>※4</sup> （各1回） →敦賀会場 <sup>※4</sup> （各1回） 福井会場 <sup>※5</sup> （各1回）
	原子力施設横型ポンプ分解組立	関電施設 <sup>※6</sup> （2回） →関電施設 <sup>※6</sup> （1回） 原電施設 <sup>※7</sup> （1回）
	原子力施設モックアップ研修（敦賀）	関電施設 <sup>※6</sup> （40日/年） →関電施設 <sup>※6</sup> （40日/年） 原電施設 <sup>※7</sup> （10日/年）
【再実施】	原子力施設機械基礎（伝動装置・簡易診断技術）	前年度休止 →敦賀会場 <sup>※4</sup> （1回） 福井会場 <sup>※5</sup> （1回）

※1 溶剤除去性浸透探傷検査レベル2 ※2 超音波探傷試験レベル1 ※3 超音波探傷試験レベル2 ※4 敦賀商工会議所 ※5 福井商工会議所 ※6 関西電力(株)原子力研修センター ※7 日本原子力発電(株)敦賀総合研修センター

## 2. 原子力関連業務従事者研修 研修受講生の実績と計画（平成17年度～平成26年度）



（平成17年度～平成25年度 延受講生数 約5,000人、年間平均受講生数 約560人）

以上